



# 栃木の 土地改良



みどり  
水土里ネットとちぎは本会の愛称です。



「ルピナスの丘にロボット現る」  
(鹿沼市)

令和7年度第1号

第540号

鹿沼市花木センターの園内に色とりどりの「ルピナス」が咲き誇るなか巨大な「ロボット」が出現しました。我々が携わる農作業にも様々なICT技術等ロボットテクノロジーが導入されつつありますが、「ルピナス」の花言葉に「想像力」とあるように、農作業の効率化・省力化・安全性向上のためにテクノロジーが寄与する未来を想像してみたいかがでしょうか。  
4月27日撮影

# 栃木の土地改良

第540号 | 令和7年度第1号

## MAIN CONTENTS

### ごあいさつ

- ・水土里ネットとちぎ会長 佐藤 勉 1
- ・全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 進藤 金日子 2
- ・全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 宮崎 雅夫 3
- ・栃木県農政部長 廣川 貴之 4
- ・栃木県農政部農村振興課長 高崎 正 5
- ・栃木県農政部農地整備課長 青木 寛和 6
- ・水土里ネットとちぎ専務理事 藤沼 良彰 7

### 定期人事異動

- ・栃木県職員（土地改良関係）の定期人事異動（主幹以上）
  - ◆令和7年4月1日付け土地改良関係幹部職員 8
  - ◆令和7年3月31日付け退職者 8
- ・本会職員の定期人事異動
  - ◆令和7年4月1日付け職員 9.10

### Pick up

- ・『これからよろしくお祈いします！』～新規採用職員紹介～ 11
- ・『資格を取得しました！』～資格取得者紹介～ 11

### 男女共同参画推進

- ・全国水土里ネット女性の会総会 12
- ・無意識に思い込んでない？～アンコンシャス・バイアス～ 13
- ☆シリーズ 温故知新・先人たちの土地改良への想い⑧ 14.15  
～ひっそり佇む「いしづみ」は知られざるエピソードを静かに物語ります～

### Topics

- ・令和6年度土地改良区等監査実務等向上研修会 16
- ・令和6年度 多面的機能支払交付金に係る活動組織研修会 17
- ・第114回通常総会 18.19

第47回全国土地改良大会 佐賀大会 20

栃木の魅力発信 令和7年度水土里レポーター 20

### 式典等

- ・県営上石那田地区土地改良（区画整理）事業竣工記念碑除幕式 21
- ・春の叙勲 22
- ・農林水産大臣より感謝状を賜りました 23

### 案内

- ・会員情報の変更について 24
- ・年間を通じたクールビズ 24
- ・ご用命は地域担当者へ 25
- ・今年度も開催いたします！～絵画展・写真コンテスト～ 25
- ・夏季インターンシップの募集 26
- ・職員採用試験について 26
- ・株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ 26
- ・土地改良施設賠償責任保険に加入していますか？ 27
- ・★土地改良施設カード★を作成しませんか？ 27
- ・令和7年度年間スケジュール概要 28
- ・編集後記 28



## ごあいさつ

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）

会長 佐藤 勉

鳥のさえずり、小川のせせらぎと心地よいうらかな好季節を迎え、会員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から農業農村整備事業の推進にご尽力いただくとともに、本会の業務運営に特段のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

近隣の桜も葉桜に衣替えが始まる中、ここ数年続く水不足の懸念を払拭するかのように日光連山は未だ残雪が輝きを見せており、農業用水を届けることが我々土地改良事業を担う者にとりましても、一つの不安要素が解消できるものと感じております。

さて、お陰様を持ちまして、去る3月31日に令和7年度予算が成立し、農業農村整備事業関係予算は、皆さま既にご承知のところと存じますが、前年度を260億円上回る6,500億円が計上されました。農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算であり、これも偏に、土地改良事業に対する皆さまのご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

改正土地改良法におきましても同日に成立し、基幹的農業水利施設の計画的な更新に向け、土地改良区や市町の関係者が共同で将来にわたり地域の農業水利施設等を適切に保全していくための将来像を、関係者間で共有・構築する「水土里ビジョン」などが盛り込まれました。

加えまして、3月に開催しました本会通常総会におきまして、決議文が全会一致で採択され、この決議を基に国・県へ要請を行っていく所存であり、国が目指す初動5年間で農業の構造転換を集中的に進め、土地改良事業予算の安定的な確保に努めていくところでございます。水土里ビジョンにおきましても、これまで以上に土地改良区の業務運営強化が求められており、本会も会員皆さまの支援に取り組んでまいります。

また、男女共同参画推進におきましては、第5次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画の下、全ての土地改良区において女性理事を参画し、土地改

良区の理事に占める女性の割合を10%とする成果目標の最終年度となります。農村社会の活力向上や多様な価値観による新たなインサイトの創出など、農業・農村の持続的な発展のために重要なこととなりますので、その意義を十分ご理解の上、目標達成に向けた働きかけをお願いいたします。

更に、栃木県におきましては、気候変動の影響により増加している集中豪雨に備えるため、国が推進する流域治水の第2弾に取り組むこととしました。近年、全国で集中豪雨が発生し、ため池を含め河川の堤防決壊など、水害が多く出ております。こうした水害リスクを低減するための対策である田んぼダムなどの取組であり、一昨年に対策を行った思川流域に続き、本年度は宇都宮中心部を流下する田川流域の農村地域雨水流出抑制対策となります。関係する市・町、土地改良区等におきましては、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

こうした中、代行施行システムも完成を迎える手はずが整い、これまで施工監理を中心としておりましたが、本格的に事業計画から完了まで一連を通して支援できることとなります。事業が多様化する中、農業農村整備の円滑な実施に努めてまいりますので、会員の皆さまにおかれましては、お気兼ねなくご相談いただければ幸いです。

今年の夏は、土地改良の代表である宮崎雅夫さんの勝負が控えております。もう1人の代表である進藤金日子さんと全国で直面している課題解決の処方箋を国の施策に反映させるよう奮闘しております。二人体制の重要性をご理解いただき、皆さんの声を国に届けるためにも、活動の支援をお願いします。

今後も、農業農村整備の更なる推進に向け、会員皆さまの負託に応えられるよう努めてまいりますので、なお一層のご協力をお願いします。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸、ご活躍を祈念申し上げます。年度当初の挨拶といたします。



## 農業構造改革のスタートダッシュを図る

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子

栃木県土地改良事業団体連合会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は、一年を通じて自然災害が多発し、また、8月の南海トラフ地震緊急速報の発令を契機としたコメ騒動は現在でもその余波が残り、コメ価格が昨年と比べて約2倍になるといった事態を招いています。他方、米国ではトランプ大統領が2度目の当選を果たし、一方的な関税引き上げ等による世界経済への影響が懸念され、先行きが不透明な状況にあります。

農政では食料・農業・農村基本法が改正され、新たな施策が次々と打ち出されており、本年4月には新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定され、土地改良法も改正されました。

土地改良法の目的が、農業生産基盤の「整備及び開発」から「整備及び保全」に改正され、また、地域における農業生産活動の実施に重大な影響を及ぼす恐れのある「基幹的な農業水利施設の更新」事業を農業者の申請によらず、国・県の発意により実施できる制度を創設するとともに、急施の防災事業について損壊が生じる恐れがある農業水利施設の補強等の事業を実施可能とし、復旧事業については原形復旧だけでなく再度災害防止のための事業とともに突発事故被害と類似の被害を防止するための事業も追加しました。

さらに、土地改良区が市町村や他の関係者と連携して「連携管理保全計画（いわゆる水土里ビジョン）」を作成して、県知事の認可を受け、末端施設も含めた土地改良施設の保全を行う仕組みを新設しました。

これらの改正と同時に令和7年度予算も充実が図られ、令和7年度に執行可能な予算は、昨年度より

260億円増額の6,500億円となっています。そして、個別事業においては、農業競争力基盤整備事業（農地整備含む）が6.2%増の1,670億円、土地改良施設保全管理が8.5%増の267億円となり重点化が図られています。また、事業制度では、農地中間管理機構関連農地整備事業において事業主体に市町村を追加するとともに、麦・大豆3割転換等の要件で採択を可能とし、水土里ビジョンに位置付ける農業水利施設について水利施設管理事業や土地改良施設維持管理適正化事業において補助率アップが措置されました。

また、令和7年3月末に農地を次世代に引き継ぐための地域計画が各市町村で策定されましたが、この地域計画は、地域の方々が自らの農地の実情を認識し、将来誰に耕作を託し、そのために何をすべきかの判断を促すもので、次年度以降、常にローリングしていくことが重要です。そして、地域計画における農地利用の空白を防ぎ持続可能な地域農業を実現していくためには、土地改良が不可欠です。

土地改良法の改正と新たな制度の創設を契機として、本年度は農業構造改革のスタートダッシュを図る年度です。7月には同志の宮崎雅夫議員の二回目の挑戦を控えています。農政の課題解決に向けて土地改良の加速的な実施が求められる中であって、貴会の会員の皆様方のご理解とご協力を賜わり、是非とも困難を乗り越えさせていただきたいと存じます。私も精一杯努力してまいりますので、皆様方からのご指導とお力添えを宜しくお願い申し上げます。



## 更なる予算の確保と制度の充実に向けて

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

栃木県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年、四半世紀ぶりに改正した「食料・農業・農村基本法」において、土地改良では、スマート農業等も視野に入れた「整備」に加えて、防災・減災、老朽化への対応に向けた「保全」を新しい柱として位置付けました。その実現のため、老朽化した施設の計画的な更新や土地改良区の運営・体制の強化を図るなど、本年3月末には、改正された基本法に沿って土地改良法が改正され、整備と保全の両面から制度強化を進めています。

また、これに対応する予算も昨年度比260億円増の6,500億円を確保することができました。これも皆様のご尽力の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

さらに、本年度は改正基本法を実効あるものとしていく「農業構造転換集中対策期間」5ヶ年がスタートしており、農地の大区画化を中心とした農業構造の転換を図るため、予算規模の大幅な拡大にも取り組んでいます。

加えて、国土強靱化については、これまで3か年緊急対策（H30～R2）や、概ね15兆円程度の事業規模で実施中の5か年加速化対策（R3～R7）を進めています。そして、本年6月を目途として

策定中の令和8年度からの「国土強靱化実施中期計画」では、総額20兆円超の事業が見込まれており、土地改良分野においても、しっかりと予算を確保すべく全力を尽くしてまいります。

他方、本年4月25日には、関税措置に係る米国との協議に関し、「工業製品を守るために農林水産品を犠牲にするような交渉方針は断じて受け入れられない」旨の党決議を行っており、引き続き農林水産品を守るため、しっかりと頑張ります。

この夏、私にとって二度目の挑戦が控えております。皆様のさらなるご支援をいただきながら、一步一步着実に前進していく覚悟です。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声をしっかりと国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります。引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、栃木県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の方々の益々のご発展とご健勝を心より祈念申し上げます。



## 新任ごあいさつ

栃木県農政部長

廣川 貴之

4月から、農政部長に就任いたしました廣川でございます。

栃木県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、日頃から本県の農業・農村の振興、とりわけ農業農村整備事業の推進に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今日の農業・農村は、担い手の減少や高齢化の進行、気象災害の頻発化・激甚化に加え、昨今の米の需給逼迫や価格高騰、米国における追加関税の発動など、様々な課題を抱えております。このような中、国は、本年4月に新たな「食料・農業・農村基本計画」を定め、食料安全保障の確保や、農業の持続的発展に向けた目標や対策が示されたところであります。

本県におきましては、今年度最終年を迎える農業振興計画「とちぎ農業未来創生プラン」の総仕上げとして、新たな課題にも的確に対応しながら、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現に向け、新規就農者の確保・育成やスマート農業等の推進、園芸大国とちぎの実現などに取り組んでいくところであります。

併せて、今年度は新たな農業振興計画（R8～12）の策定の年であることから、担い手が確実に収益を確保でき、地域が活気にあふれる農業・農村の実現を目指して、本年3月に県内492地域全域で策定された地域計画も踏まえながら、将来の担い手の確保・育成や農作業の効率化、生産性の向上等を盛り込んだ前向きで実効性の高い次期農業振興計画を策定し、未来へとバトンをつなぐ施策を展開して参りたいと考えております。

これらの取組を着実に進めていくためには、農業の礎である生産基盤の整備が重要であることから、スマート農業に対応した農地の大区画化やICTを活用した自動水管理システムの導入、麦・大豆・露地野菜等の収量・品質を向上させる水田の汎用化などを積極的に推進して参ります。

また、安全・安心な農村づくりに向けては、農業水利施設の計画的な長寿命化対策や、防災重点農業用ため池の防災・減災対策に加え、田んぼダムを活用やため池の低水管理などによる雨水流抑制対策に取り組み、農村が有する治水機能の向上による地域防災力の強化を図って参ります。

各土地改良区におかれましても、水利施設の適正な維持管理をはじめ、地域の話し合いを通じた担い手への農地の集積・集約化や地域資源の保全活動など、その役割が益々重要となって参りますので、地域農業の発展に向けましてより一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の益々の御活躍と御健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



## 新任ごあいさつ

栃木県農政部農村振興課長  
高崎 正

4月から、農村振興課長に就任いたしました高崎でございます。

会員の皆様におかれましては、日頃から本県農村の振興に、格段の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、農村地域を巡る情勢については、都市部を上回る人口の減少、特に中山間地域では集落活動が急激に低下するとされている総戸数9戸以下の集落が増加するなど様々な課題に直面する一方、国民生活を一変させたコロナ禍からの社会経済活動の正常化とともに、訪日観光客が増加するなど、世界に誇る観光資源を有する本県にとって明るい話題もでてきているところであります。

こうした中、県では、最終年を迎える農業振興計画「とちぎ農業未来創生プラン」に基づき、担い手と地域住民が協働し、広範囲に営農を展開する「とちぎ広域営農システム」の構築や「農村地域の防災力の強化」などを重点的に推進しているところであります。

農村振興課としましては、「国内外からの新しい人の流れの創出による農村地域の活性化と活力ある農村づくり」をキャッチフレーズに、豊かな地域資源を活用した新たなビジネスの創出や、農泊やグリーン・ツーリズムの実践、農産物直売所の新サービスの開発等を支援するなど、農村地域の稼ぐ力を強化する各種施策を展開して参ります。

また、農業者と地域が一体となって取り組む多面的機能支払による共同活動は、地域資源の保全と活用、活力ある農村づくりのみならず、活動組織による地域の話し合いを通じて、地域営農の将来を考え

る有効な手段となるため、引き続き、県協議会や市町との連携のもと支援を行って参ります。

さらに、中山間地域においては、快適で安らぎのある農村環境づくりに向けた生産基盤と生活環境の一体的な整備や農業生産を維持する活動を支援するとともに、地域住民が主体となった特産農産物づくりや都市農村交流を促進する取組のほか、農ある暮らしに関心のある若者や女性が移住し、農業に携わるための環境づくりを支援するなど総合的な対策を講じていく考えであります。

今後とも「若者をはじめとした多様な人材が、いきいきと活躍する農村地域」の実現に向けて、関係職員が一丸となって取り組んで参りますので、会員の皆様方の一層の御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。



## 新任ごあいさつ

栃木県農政部農地整備課長

青木 寛和

4月から、農地整備課長に就任いたしました青木でございます。

会員の皆様におかれましては、日頃から本県の農業農村整備の推進に当たりまして、格段の御理解と御支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、農業・農村を取り巻く環境は、担い手の不足や高齢化、気候変動による大規模自然災害の頻発化、不安定な国際情勢の影響等による物価高騰など、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、国では、食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正され、4月には、食料・農業・農村基本計画が閣議決定されたほか、改正土地改良法が施行されるなど、農政の大きな転換点を迎えております。

本県においても、情勢変化に的確に対応した施策を展開していくことが求められており、国の動向も踏まえながら、今後5年間の農政の新たな指針となる次期農業振興計画の策定に向けた検討を進めているところであります。

改正された土地改良法では、農業の生産基盤の整備に加え、「保全」が明記され、土地改良区が市町等の関係者と連携して、農業水利施設等の生産基盤の保全管理と土地改良区の運営基盤の強化に向けて「水土里ビジョン」を策定する仕組が創設されました。

農地整備課としましても、農業水利施設の老朽化や農村人口の減少が進行し、気候変動による災害リスクが増大する中において、農業生産基盤の整備及び保全を的確に実施して参りますとともに、地域が描く営農構想の実現に向けて、農地の集積・集約化

に資するほ場の大区画化やICTを活用した自動水管理システムの導入など、スマート農業や担い手のニーズに対応した基盤整備、農業水利施設の長寿命化対策と併せた省力化技術導入、農業用ため池等の防災・減災対策、更には田んぼダムなど、河川流域の関係者が一体となって進める雨水流出抑制対策に積極的に取り組んで参ります。

貴会におかれましては、本県農業農村整備の推進に一層のお力添えをいただきますとともに、これまで積み上げてきた知識や経験、技術力を駆使し、代行施行の推進やため池サポートセンターの運営、多面的機能を有する農地や農業水利施設等の保全管理など、地域農業の未来を支える重要な存在となりますので、引き続き、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、稼げる農業の展開と未来につながる持続可能な農業・農村の実現を目指して、土地改良区や市町、関係団体の皆様と一丸となって取り組んで参りますので、会員の皆様方のなお一層の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。



## 就任ごあいさつ

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会）

専務理事 藤沼 良彰

新緑の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より農業農村の振興並びに農業農村整備事業の推進に各段のご理解とご協力、ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

私こと、先の第114回通常総会において理事の選任を賜り、このたび専務理事に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いであります。渡邊前専務同様、皆様の負託に応えられますよう精一杯努めて参る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く情勢につきましては、農業者の減少や資材高騰、自然災害の頻発化など、これまでにない課題に直面しております。

こうした中、国では「国土強靱化基本法」の改正によって、ため池や農業水利施設等の改修・整備による防災力の一層の強化が位置付けられました。

また、「食料・農業・農村基本法」や「土地改良法」の改正により農業生産の基盤整備に加え、「保全」に必要な施策を講ずることが明記されるなど、今後の農業農村整備の展開方向が明らかになったところです。

とりわけ、改正土地改良法では、農家負担ゼロの農地中間管理機構関連事業の拡充のほか、土地改良区が市町など地域の関係者と連携して、農業水利施設の保全に取り組むための連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定により、それぞれの役割分担を明確にして、将来にわたる農業水利施設等の保全を行う仕組みが創設されました。

本会といたしましても、国・県・市町をはじめ関係機関との連携を図るとともに、会員の皆様からのニーズに応じて参りたいと考えております。

さらには、地域計画と連携しながら、スマート農業の導入や農地の集積・集約化による効率的な

営農を実現するため、水田の大区画化や畑地の整備、草刈りや水管理などへの省力化が重要となります。

引き続き、スマート農業や需要に応じた生産に対応できる基盤整備を推進するとともに、効率的な農業水利施設等の保全管理や土地改良区の運営基盤の強化、防災減災機能の維持・強化を図って参ります。

また、「とちぎため池保全サポートセンター」や「複式簿記会計サポートセンター」の開設により、農業水利施設の維持補修や土地改良区の運営などについて、会員の皆様からの相談業務や巡回指導などによる支援をさせていただいております。

本年度からは、新たに「発注者支援室」を設け、農業水利施設の長寿命化に関することや受託事業の推進、工事に関することなど、会員の皆様へのサポート体制の充実・強化を図って参ります。中でも、市町や土地改良区等の技術者不足を補完する代行施行事業については、本格的な実施に向け準備を進めているところです。

そのほか当会では、多面的機能支払交付金事業における担当者不足などへの支援や土地改良区等における研修会の開催、男女共同参画に伴う女性理事登用にに向けたアドバイス、国・県などへの要請活動など幅広い活動を行っております。どうぞお気軽にご相談やご活用をいただければ幸いです。

今後とも、皆様から信頼と期待が得られる「水土里ネットとちぎ」として、新たな技術・取組を提案させていただくなど、より質の高い業務を目指し、誠心誠意努力して参る所存でございます。皆様方からのお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、会員皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、就任にあたってのご挨拶といたします。

## 栃木県職員(土地改良関係)の定期人事異動(主幹以上)

### ◆令和7年4月1日付け 土地改良関係幹部職員

新補職名/前補職名 (○印は昇任、敬称略)

農政部長/農政部次長兼農政課長	廣川 貴之
農政部次長兼農政課長/自然環境課長	○柿沼 章洋
農政部次長/経営技術課長	○高山 明彦
農政部参事兼芳賀農業振興事務所長/農地整備課長	○森嶋 裕一
農政部参事兼下都賀農業振興事務所長/農政部参事兼芳賀農業振興事務所長	蓬田 武
農政部参事兼那須農業振興事務所長/農村振興課長	○大谷 義夫
農政課総務主幹/畜産振興課長補佐(総括)(企画経営担当)	○平野 尚也
農政課主幹兼課長補佐(総括)/林業木材産業課長補佐(総括)	○過足 健二
農村振興課長/農政課農政戦略推進室長	高崎 正
農村振興課主幹(技術調整担当)/上都賀農業振興事務所農村整備部長補佐(総括)兼調査保全課長	○野澤 宗彦
農地整備課長/安足農業振興事務所企画振興部長	青木 寛和
農地整備課主幹(水利保全担当)/塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長補佐(総括)兼整備課長	○小平 健司
河内農業振興事務所長/経営技術課主幹(担い手育成担当)	齋藤 寿
河内農業振興事務所次長兼管理部長/観光交流課長補佐(総括)	○垂石 彰
河内農業振興事務所次長兼企画振興部長/塩谷南那須農業振興事務所経営普及部長	室越 宗夫
河内農業振興事務所農村整備部長/芳賀農業振興事務所農村整備部長補佐(総括)兼調査保全課長	大出 智則
上都賀農業振興事務所次長兼管理部長/上都賀農業振興事務所管理部長補佐(総括)兼管理課長	○大貫 正明
上都賀農業振興事務所次長兼企画振興部長/農業大学校主任教授	櫻井 忠
上都賀農業振興事務所農村整備部長/塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長	山本 和則
芳賀農業振興事務所次長兼管理部長/河内農業振興事務所次長兼管理部長	柳田 雅美
芳賀農業振興事務所次長兼企画振興部長/芳賀農業振興事務所経営普及部長	大野 恭子
下都賀農業振興事務所次長兼企画振興部長/塩谷南那須農業振興事務所次長兼企画振興部長	渡辺 憲司
下都賀農業振興事務所農村整備部長/那須農業振興事務所農村整備部長	植木 聡
塩谷南那須農業振興事務所次長兼管理部長/県西環境森林事務所次長	中里 浩一
塩谷南那須農業振興事務所次長兼企画振興部長/上都賀農業振興事務所経営普及部長	渡邊 守
塩谷南那須農業振興事務所農村整備部長/那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長	松山 健一
那須農業振興事務所次長兼企画振興部長/経営技術課技術指導班長	鈴木 雅之
那須農業振興事務所農村整備部長/農地整備課主幹(水利保全担当)	東城 章
那須農業振興事務所那須広域ダム管理支所長/農地整備課課長補佐	○古谷 秀幸
安足農業振興事務所企画振興部長/農村振興課長補佐(総括)	○瀬川 淳一

### ◆令和7年3月31日付け退職者 土地改良関係(敬称略)

安足農業振興事務所	渡邊 憲一
-----------	-------

## 本会職員の定期人事異動

### ◆令和7年4月1日付け 職員

新補職名／前補職名（○印は昇任、敬称略）

#### 【事務局】

事務局長／事務局長（兼）総務部長 関谷昌宏  
 嘱託（事業調整監）（兼）発注者支援室長／嘱託（事業調整監） 齋藤清

#### 【総務部】

総務部長／事業部情報管理課長 ○安達裕之  
 総務課長（兼）総務・会計担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター長  
 ／同課長（兼）複式簿記会計サポートセンター 菊地義則  
 総務課主幹（兼）業務推進担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター  
 ／同課課長補佐（兼）システム運用担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター ○土谷和之  
 総務課主査／換地課主査 福田妙子  
 総務課主任／事業部情報管理課主任 渡邊恒平  
 総務課技師／換地課技師 櫻川一喜  
 総務課主事／同課主事補 佐藤蒼佳  
 換地課主幹（兼）計画担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター  
 ／総務課課長補佐（兼）総務・会計担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター ○高松和人  
 換地課主幹（兼）事業第1担当 TL／同課課長補佐（兼）事業第1担当 TL ○佐藤栄章  
 換地課課長補佐（兼）複式簿記会計サポートセンター／同課課長補佐 安部未和  
 換地課課長補佐（兼）複式簿記会計サポートセンター  
 ／同課副主幹（兼）複式簿記会計サポートセンター 伊原敦夫  
 換地課主査／同課主任 ○大久保美代子  
 換地課主任（兼）複式簿記会計サポートセンター／同課主任 村田彩香  
 換地課主任／事業部農村整備課主任 成松翔太  
 換地課技師／事業部農村整備課技師 坪井楽斗

#### 【事業部】

事業部長／事業部長（兼）農村整備課長 佐藤和宏  
 情報管理課長（兼）発注者支援室／施設保全課長（兼）とちぎため池保全サポートセンター長 菊地一俊  
 情報管理課主幹（兼）情報管理担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター（兼）発注者支援室／  
 施設保全課主幹（兼）施設保全第2担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター 坂本宜凡  
 情報管理課主幹（兼）多面的交付金担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター  
 ／同課課長補佐（兼）多面的交付金担当 TL（兼）複式簿記会計サポートセンター ○植木美穂  
 情報管理課主任／施設保全課技師 ○大場隆太  
 情報管理課技師／施設保全課技師 青山光生  
 農村整備課長（兼）事業第1担当 TL（兼）発注者支援室  
 ／情報管理課主幹（兼）審査・積算担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター 豊田修一  
 農村整備課課長補佐（兼）計画担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター（兼）発注者支援室／  
 同課課長補佐（兼）計画担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター 岡本功  
 農村整備課副主幹（兼）発注者支援室／同課副主幹 小玉隆  
 農村整備課主任（兼）発注者支援室／同課技師 ○福田初美

# 定期人事異動

農村整備課技師／新規採用	齋五沢 朋 宏
農村整備課技師／同課技師補	広 江 空 我
農村整備課技師／同課技師補	齋 藤 彩 乃
施設保全課長（兼）ため池担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター長（兼）発注者支援室 ／同課主幹（兼）施設保全第1担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター	宮 下 敬 弘
施設保全課主幹（兼）施設保全担当 TL／農村整備課主幹（兼）事業第1担当 TL	大 島 俊 久
施設保全課主幹（兼）集落排水担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター副センター長 ／同課主幹（兼）集落排水担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター	倉 井 佳 益
施設保全課主任（兼）とちぎため池保全サポートセンター（兼）発注者支援室 ／情報管理課主任	半 田 泰 基
施設保全課主任（兼）とちぎため池保全サポートセンター（兼）発注者支援室 ／農村整備課技師	○関 本 ひかり
施設保全課技師（兼）発注者支援室／同課技師	大 堀 瑞 生
施設保全課技師／同課技師補	鈴 木 大 海
施設保全課嘱託（専門員）（兼）とちぎため池保全サポートセンター（兼）発注者支援室 ／同課嘱託（専門員）（兼）とちぎため池保全サポートセンター	天 川 幸 人
測量課長（兼）測量第1担当 TL／総務部換地課主幹（兼）計画担当 TL	野 澤 克 彦
測量課主幹／農村整備課主幹	船 山 訓 男
測量課主幹（兼）測量第2担当 TL（兼）とちぎため池保全サポートセンター ／農村整備課主幹（兼）測量担当 TL（兼）	大 塚 芳 明
測量課課長補佐（兼）とちぎため池保全サポートセンター ／情報管理課課長補佐（兼）とちぎため池保全サポートセンター	和 氣 毅
測量課係長／農村整備課係長	枝 一 博
測量課主任／総務部換地課主事	○石 松 竜
測量課技師／農村整備課技師補	熊 倉 更
測量課技師／農村整備課技師補	宮 下 海 斗
測量課嘱託（専門員）／農村整備課嘱託（専門員）	阿久津 浩 子
測量課嘱託（専門員）／農村整備課嘱託（専門員）	阿久津 年 之
測量課嘱託（専門員）／農村整備課嘱託（専門員）	村 上 祐 二

## これからよろしくお願ひします!

### ～新規採用職員紹介～

**Q1 本会に入ろうと思ったきっかけは何ですか?**

前職で農業基盤整備に従事する中で、土地改良関係団体と一緒に仕事をさせていただく機会が多くありました。そうした中でより専門的な知識を取得し、活かせる本会に魅力を感じたことがきっかけです。

**Q2 趣味や特技は?**

登山、歴史、将棋

**Q3 座右の銘は?**

己の欲せざるところ人に施すことなかれ

**Q4 アピールポイントを教えて!**

一緒に仕事を進める相手側の視点を持っていることが強みです。また、寝ない・食べない・歩き続ける等々、己の限界値を一式測ったことがあります。この経験から無理しすぎない程度に頑張れるので持久力には自信があります。軽作業全般お任せください!

**Q5 最後に一言**

早く一人前になれるよう精一杯勉強させていただきます。至らぬ点が多々あるかと存じますが何卒宜しくお願ひいたします。

事業部 農村整備課

さいごさわ ともひろ

齋五沢 朋宏



## 技術の向上『資格を取得しました!!』 資格取得者紹介

### 測量士補

情報管理課  
技師 青山 光生

施設保全課  
技師 佐柄 朝飛

農村整備課  
技師 橋本 亮

測量課  
技師 熊倉 更

### 2級土木施工管理技士

施設保全課  
主任 半田 泰基

施設保全課  
主任 関本 ひかり

情報管理課  
主任 大場 隆太

施設保全課  
技師 大堀 瑞生

### 農業用ため池保全管理技士

施設保全課  
技師 大堀 瑞生

施設保全課  
技師 佐柄 朝飛

### 技術士補

情報管理課  
技師 青山 光生

### 2級ビオトープ施工管理士

情報管理課  
技師 青山 光生

### コンクリート技士

施設保全課  
技師 大堀 瑞生

### 畑地かんがい技士

農村整備課  
主任 福田 初美

### 農業集落排水計画設計士

施設保全課  
主幹 倉井 佳益

皆様の期待に応えられるよう、さらに努力を重ねて参ります!

## 令和7年度全国水土里ネット女性の会総会

日時：令和7年4月22日（火）

午後1時15分～

場所：Web会議方式

令和7年度全国水土里ネット女性の会の総会がWeb会議方式により開催され、全国から125名が参加しました。

会議は全国水土里ネット女性の会西会長（熊本県土連・くまもと水土里ネット女性の会事務局）の挨拶からはじまり、下記の2議案を議題とし、すべて承認・議決されました。

その後、47都道府県リレートーク（1分スピーチ）が行われ、全国水土里ネット女性の会の副会長である、とちぎ水土里ネット女性の会石川会長（小山用土地改良区事務局長）がトップバッターとしてスピーチをされました。スピーチテーマは下記の3つから1つ選び、石川会長は好評だった取組について、令和6年8月に本県で開催した関東一都九県土地改良事業団体連合会協議会ブロック女性理事意見交換会での準備等への協力を挙げられ、「ほかの組織との交流や協力をすることをおすすめします」と述べられました。

### 議事

第1号議案 令和6年度全国水土里ネット女性の会事業報告について

第2号議案 令和7年度全国水土里ネット女性の会事業計画（案）について

### スピーチテーマ

- ・女性の会で好評だった取組。皆さんもやってみたらいかが？
- ・女性の会の抱負
- ・全国水土里ネット女性の会への提案





# 無意識に思い込んでない？

## 『A型=几帳面』『理系=男性』



「理系」と聞くと  
男性を  
思い浮かべる



家事・育児は  
女性が  
するものだ



私たちは、何かを見たり、聞いたり、感じたりした時に「無意識に“こうだ”と思い込むこと」があります。この「無意識の思い込み」は、心理学の用語を使い「アンコンシャス・バイアス」「無意識のバイアス」などとも表現されています。

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は、**過去の経験や見聞きしたことに影響をうけているもの**で、誰もが持っているものです。それらは日常生活にあふれていますが、気づかずにいると、そこから生じた判断や言動が、時に相手を傷つけてしまったり、自分自身の可能性を狭くしてしまったり、人や組織の成長を妨げてしまったりといった、ネガティブな影響を及ぼす可能性があります。

### 身に覚えある？チェックしてみよう 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の種類

#### ステレオタイプ

性別、学歴、世代などをもとに、先入観や固定観念で相手を見る傾向

- デートや食事のお金は男性が支払うものだと思う
- 女性に理系の進路（学校・職業）は向いていないと思う
- 家事・育児は女性がするものだと思う
- 「親が単身赴任」と聞くと、父親を思い浮かべる（母親の方ではなく）
- 男性なら人前で泣いてはいけないと思う
- 学級委員長や生徒会長は男子が、副委員長や副会長は女子の方が向いていると思う
- 血液型を聞くと、相手の性格を想像する



#### 正常性バイアス

警告のシグナルを軽く考えて「私は大丈夫」「このくらい問題ない」などと、思い込む傾向

- 火災警報器が鳴っても「点検中の誤作動だろう」と避難しなくていいと思う
- 学校の課題を作成する際にネットの情報をコピーしても問題ないだろうと思う



#### 確認バイアス

自分の考えに合う情報や、都合のいい情報ばかりに目がむく傾向

- インターネットやSNSで自分の賛同する意見の情報ばかり目がい
- 自分が読んだ流行の本やマンガは、みんなも知っていると思う



#### 集団同調性バイアス

「みんなに合わせた方がいい」など、周りと同じように行動してしまいたくなる傾向

- 周りに合わせて「私もSNSを始めた方がいいかな」と思う
- 災害時に避難警報が出て、他の人が避難せず同じ場所にいるので「私もここにいよう」と思い込む



#### 現状維持バイアス

「このままが（で）いい」など、現状維持を望み、変化をさけたくなる傾向

- 飲食店で「新しいメニューを選んで失敗したくない」と思い、いつも慣れ親しんだメニューを頼みたくなる
- これまで行ってきたことに対して、新しい方法の提案をうけても、このままがいいと思う



ここに挙げたのは、ほんの一例です。

日常の中で、自分の中にもアンコンシャス・バイアスがないか？ぜひ一度考えてみてください。

出典：内閣府ホームページ ([https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu\\_r03.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r03.html))、参考：(一社)アンコンシャスバイアス研究所



<お問い合わせ> 栃木県生活文化スポーツ部人権男女共同参画課 ☎028-623-3074 (女性活躍推進担当)  
栃木県 HP : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/c07/documents/unconscious-bias-leaflet.pdf>

# 温故知新・先人たちの土地改良への想い ⑧

～ひっそり佇む「いしづみ」は知られざるエピソードを静かに物語ります～

今回は大田原市の北部に位置する「金田北部1期」(2期・3期)地区を紹介します。当地区は早くから地下水等を利用した水田稲作を中心とした農業が盛んな地域でしたが、時代の変化に即した農地整備の必要性を認識し、昭和50年代から研究会や協議会を起ち上げ、圃場整備や地域営農などについて積極的に議論し、機が熟した平成11年に知事の認可を

事業名：県営経営体育成基盤整備事業

場所：大田原市 市野沢・練貫・富池

## 事業の概要 (1期地区記念碑文等より)

受益面積：142ヘクタール

道路整備：17.1キロメートル

水路整備：32.7キロメートル

事業期間：平成11年度から平成17年度

受け、関連事業の「河川改修事業」や「ふるさと農道緊急整備事業」等も併せて土地改良を進め、地域一帯の農業農村環境整備に大きく貢献しました。

大田原市  
金田北部地区



## 豊郷黎明

地区は、大田原市の北東に位置する市野沢、練貫、富池の三大字にわたる広大な田園地帯である。中央には大川、木の俣川及び木曾川を改修した一級河川相の川を擁する。

戦後になって地下水等を利用した開田が各所に見られ水田造成には容易な畑地が多かったことと相俟って大田原市の中心的水田地帯へと変貌した。その後農業機械の開発、農業形態の変革に伴う水利の確保、圃場の大型化、用排水の整備など近代化への即応に迫られる状況に至った。これらに対応すべく、平成十年十一月には金田北部土地改良区を設立、更に地域の方々、県・市を初め関係機関の協力のもと、金田北部地区「県営圃場整備担い手育成基盤整備型」の土地改良事業へと一般の結集と進捗がはかられる体制となった。まず圃場整備に当たっては、平成十一年三月栃木県知事の認可を受け事業に着手。百四十二・二haの面的整備、三十二・七kmの用排水路、十七・一kmの道路の整備、揚水機場百五十五基を二十二基に統合整備す

るなど、各種の事業が推進された。以上の関連事業として、一級河川相の川の改修、県営ふるさと農道緊急整備事業も併せて行われ、減歩率は十三・〇％で実施された。以上の諸事業の中で、特に、相の川の用地並びに、那須農業協同組合施設用地については組合員が特別減歩によって創設し、その用地の買取費を地元負担金に充てるなど、事業の完遂に多大の貢献をされた。

斯くして、六年の歳月を費やし幾多の難題を乗り越え、平成十七年三月漸く完成の曙光を見るに至った。これ偏に役員を初め組合員のご協力並びに関係諸機関のご指導、ご尽力の賜物と深甚なる感謝の念を表すものである。

本事業の輝かしい実績は豊かな郷土の新たなる夜明けであり、まさに、豊郷黎明(ほうごうれいめい)。この夢を次ぎの時代に託すべく、茲に基盤整備事業完成を記念し、本地域の益々の発展を祈り、この地に本碑を建立する



立派な「天然石」に嵌め込まれた1期地区の記念碑は、集出荷施設の隣に建っています。2期地区は「米俵」、3期地区は「米粒」が記念碑のモチーフとして取り入れられています。



農業経営合理化施設（ライスセンター・集出荷施設）を「特別減歩見合いの創設換地」により生み出し、地域農業の利便性向上、地元負担金の軽減にも寄与しました。



農業はもとより暮らしそのものに結び付いてきた「おかんじち湧水地」と「池の御前湧水地」は「金田北部地域環境保全会」が、丁寧に保全・管理しています。



田園地帯から那須連山をバックに、よく映えるエノキの独立巨樹が地域を見守っています。推定樹齢は約170年。「おおたわら令和の名木」にも認定されています。



この地で江戸時代から盛んであったネギ栽培が、土地改良による排水性の向上、大区画化により土地利用型園芸の取組が可能となったことから、栽培面積が拡大し、ブランド野菜「那須の白美人（はくびじん）ネギ」として人気があります。地域では他にも「那須の美なす」、「那須の春香うど」も栽培されており、土地改良は地域農業のブランディングにも相乗効果をもたらしています。

## 令和6年度土地改良区等 監査実務等向上研修会

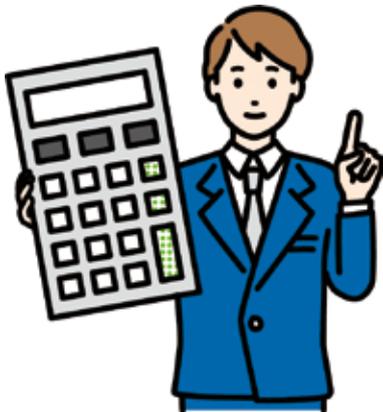
日時：令和7年2月14日（金）  
午後1時30分～  
場所：栃木県土地改良会館

土地改良区体制強化事業に基づき、土地改良区等の内部けん制機能及び運営基盤の強化を図るため、ウチノ税理士法人の鈴木公泉公認会計士・税理士並びに栃木県農政部農地整備課管理指導担当職員の方々を講師とし、県内土地改良区等の監事及び各農業振興事務所担当職員の約140名の出席のもと開催しました。

研修会は、鈴木公認会計士・税理士から、複式簿記により作成される財務諸表等の相関関係及びチェックポイントの説明を中心に、令和6年度中に栃木県が実施した土地改良区検査の実施状況や主な

指摘事項等についての説明をしていただいた後、栃木県農地整備課管理指導担当職員から、「土地改良区検査の実施状況について」、「食料・農業・農村基本法及び土地改良法の改正について」、「土地改良団体における男女共同参画推進について」と題し、今や社会全体の課題となりつつある男女共同参画推進へ向けた課題や取り組み事例の説明等をいただきました。

本研修会は、土地改良区等において監査を行う上での一歩踏み込んだ実務や、土地改良区等運営に関係する法改正等に関する内容が主であり、受講者の皆さまは、土地改良区での業務に活かすため、真剣に講義に聞き入っておられました。



## 令和6年度 多面的機能支払交付金に係る 活動組織研修会

日時：令和7年3月10日（月）  
午後1時30分～

場所：栃木県総合文化センター・メインホール

研修会は、渡邊幹事長の開会の挨拶に始まり、関東農政局杉山局次長からご祝辞をいただきました。

事例発表では千葉県君津市三舟の里保全会村田会長より「持続可能な農業を目指して三舟の里保全会18年の歩み～変わりゆく課題への対応～仲間づくりとの交流」と題して講演していただきました。



渡邊幹事長挨拶



杉山局次長祝辞

### 研修会

#### 基調講演

「食料・農業・農村をめぐる情勢」

全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会顧問 宮崎 雅夫 氏

#### 講演

「多面的機能支払交付金の次期対策について」

関東農政局農村振興部農地整備課保全指導係長 千葉 正文 氏

#### 事例発表

「持続可能な農業を目指して三舟の里保全会18年の歩み

～変わりゆく課題への対応～仲間づくりと交流」

三舟の里保全会長 村田 等 氏



三舟の里保全会長 村田氏

## 第114回通常総会

日時：令和7年3月24日（月）

午前10時00分～

場所：栃木県土地改良会館

会員総数123会員の内、123会員の出席（内本人出席48会員、代理出席21会員、書面による表決54会員）のもと、第114回通常総会を開催し、以下の11議案について審議をいただいたところ、全て原案どおり承認・議決・選任されました。



佐藤会長

【議事】(議長: 思川西部土地改良区 古河 利守 理事長)

第1号議案 令和6年度一般会計予算の補正について

第2号議案 規約の一部改正について

第3号議案 令和7年度事業計画について

第4号議案 令和7年度賦課金徴収基準及び徴収の方法について

第5号議案 令和7年度受託料徴収基準について

第6号議案 令和7年度一般会計予算について

第7号議案 令和7年度役員報酬について

第8号議案 令和7年度一時借入金の借入限度、借入先、利率及び償還方法について

第9号議案 令和7年度金銭の預入先について

第10号議案 総会議決事項の理事会委任について

第11号議案 役員の新選任について

令和7年4月1日就任 新役員（敬称略） 任期：令和9年3月31日

専務理事 藤 沼 良 彰（学識経験者）

### ◆令和6年度功労者表彰受賞者（敬称略）

団体表彰

◎建設業者（8団体）

株式会社長嶋組

有限会社小林建設

有限会社古橋組

有限会社廣瀬建設

株式会社青木組

船生建設株式会社

株式会社山洋建設

富士越建設株式会社

個人表彰（14名）

◎土地改良区理事長（2名）

柳田 崇夫 大田原市土地改良区 久郷 浩 荒川南部土地改良区

◎県職員（7名）

藤沼 良彰 下都賀農業振興事務所 矢野 勝彦 栃木県農村振興課  
 阿部 恒久 河内農業振興事務所 桐原 博道 河内農業振興事務所  
 塚原 宣行 上都賀農業振興事務所 渡邊 憲一 安足農業振興事務所  
 野口 吉弘 下都賀農業振興事務所

◎土地改良区職員（4名）

岡 順子 西鬼怒川土地改良区 海老原 斐 しおや土地改良区  
 石川 克己 小山用水土地改良区 薄葉 智子 那須町土地改良区

功績者感謝状贈呈者（5名）

◎合併土地改良区理事長（5団体）

祖母井善昌	（元）新里土地改良区理事長	うつのみや西部土地改良区に合併 令和6（2024）年4月1日
鈴木 哲男	（元）城山土地改良区理事長	同上
岡田 武	（元）姿川土地改良区理事長	同上
宇賀神和美	（元）上飯田土地改良区理事長	同上
安納 智幸	（元）下飯田土地改良区理事長	同上



代表授与を受けられる受賞者  
 （荒川南部土地改良区 久郷 浩理事長）



議長（思川西部土地改良区 古河 利守 理事長）

# 第47回全国土地改良大会 佐賀大会



日時：令和7年 10月15日(水)  
場所：SAGAアリーナ  
(佐賀県佐賀市)



## 令和7年度 栃木の魅力発信

### 水土里レポーターとは・・・

21世紀創造運動の更なる浸透や広報展開を図るため、地域の農村風景などの情報を全国に発信するため様々な活動をしているのが「水土里レポーター」です。

今年度は、ご覧の方々にご協力をいただいております。

なお、ご投稿いただいた情報は全国水土里ネットのホームページの「水土里レポーターからの報告」で紹介されております。

(敬称略)

水土里ネット那須野ヶ原	専務理事	星野恵美子
水土里ネット荒川南部	事務局長	平野 育男
水土里ネット西鬼怒川	事務局長	小林 貞夫



## 県営上石那田地区土地改良（区画整理）事業 竣工記念碑除幕式

日時：令和7年3月12日（水）

午前10時00分～

場所：宇都宮市石那田町仲根地区 田川通目鬼橋南

県営上石那田地区土地改良（区画整理）事業は、10年余りの歳月を経て、この度めでたく竣工の運びとなりました。上石那田土地改良区主催による竣工記念碑除幕式が挙行されました。

式典は高麗神社多田宮司により執り行われ、大草守上石那田土地改良区理事長、阿部恒久栃木県河内農業振興事務所長、松本茂栃木県宇都宮土木事務所長、小出雅宏宇都宮市農業企画課課長補佐、金子武蔵栃木県議会議員、渡邊修一栃木県土地改良事業団体連合会専務理事の6名による除幕の儀により、「上石那田に甦る大地」の碑文が刻まれた記念碑が出席者に披露され、神事が滞りなく終了いたしました。

### ◇事業概要◇

事業名	農業競争力強化農地整備事業
事業区域	宇都宮市石那田町、日光市猪倉地内
事業実施年度	平成27～令和6年度
総事業費	9億3千7百万円
受益面積	22.5ha
組合員数	39名



神事の様子



除幕の様子

# 春の叙勲

## 三田 隆俊 氏が旭日双光章を受章

政府は、4月29日付けで令和7年春の叙勲の受章者（3,990名）を発令しました。本県では、57名（旭日章18名、瑞宝章39名）が受章され、本会の元理事で元三栗谷用水土地改良区理事長（現同土地改良区理事）が受章の栄に浴されました。

本会理事在任中、農業農村整備事業の振興と発展、並びに土地改良事業の推進や政策等にご尽力をいただきました三田氏のこの度のご受章、役職員一同心よりお慶び申し上げます。

お祝いを申し上げますとともに、今後益々のご健勝をお祈りいたします。

### 【三田 隆俊 氏の略歴】

平成16年10月～平成24年10月	三栗谷用水土地改良区理事
平成17年5月～平成20年5月	足利市農業協同組合監事
平成20年1月～現在に至る	栃木県農業士
平成20年10月～令和2年7月	足利市農業委員会委員
平成29年7月～令和2年7月	同 会長
平成24年10月～令和7年3月	三栗谷用水土地改良区理事長
平成24年11月～令和7年3月	足利市土地改良区連絡協議会会長
平成24年12月～令和7年3月	渡良瀬川中央土地改良区連合副理事長
平成24年12月～令和7年3月	栃木県南部地方土地改良事業推進協議会副会長
平成27年4月～令和7年3月	栃木県土地改良事業団体連合会理事
令和7年4月～現在に至る	三栗谷用水土地改良区理事

## 表彰

### 感謝状を賜りました

本会は、令和6年能登半島地震に際して、農業集落排水施設等の被害調査や応急対策に協力いたしました。これに対し、農林水産大臣より感謝状を賜りました。

参考：農林水産省 プレスリリース

(<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/soumu/250314.html>)



### 令和6年能登半島地震 集落排水施設の被災状況調査に係る出発式

日時：令和6年1月26日（金）

場所：本会玄関前

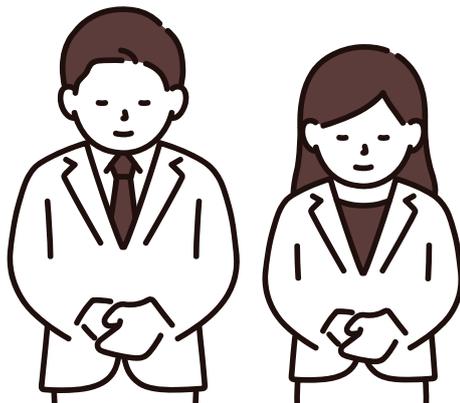


## 会員情報の変更について ~本会会員の皆様へ~

- ① 住所
- ② 会員名および代表者名
- ③ 電話番号
- ④ 受益面積 に変更がありましたら…**「変更届」**のご提出をお願いいたします。

様式は、本会ホームページの「ダウンロード」からExcelでダウンロード可能です。

印刷して押印の上総務課宛て郵送してください。



**変 更 届**

第 号  
年 月 日

栃木県土地改良事業団体連合会長 様

〒 -

会 員 住 所 \_\_\_\_\_  
名 称 \_\_\_\_\_  
代表者職氏名 \_\_\_\_\_ 印

年 月 日をもって届出事項に変更がありましたので、下記のとおりお届けします。

	変 更 前	変 更 後
会員の住所	〒 -	〒 -
会 員 名		
フリガナ 代表者氏名		
受益面積		
電 話 番 号		
F A X 番 号		

※変更があった部分のみご記入ください。

参 考 (緊急連絡時に対応するため、ご記入願います。)

理事長宅住所	〒 -
理事長宅電話	( )-( )-( )
携帯電話番号	( )-( )-( )
理事長宅FAX	( )-( )-( )

## 年間を通じたクールビズ！

本会では、環境にやさしく働きやすい職場環境づくりと業務能率の向上、消費電力の節減に資するため、年間を通して職員のネクタイやジャケットの着用を自主性に任せることとしております。



## ご用命は地域担当者へ

### 私たちにお気軽にご相談ください。

水土里ネットとちぎは、土地改良事業の適切かつ効率的な運営を確保し、会員共同の利益を増進することを目的に設立された皆様のための団体です。

地域担当者が、会員の皆様のご用命に早急に対応いたします。お気軽にご相談ください。

#### ◇栃木県【河内・芳賀】農業振興事務所管内

野澤 克彦 (事業部測量課長)  
江面 憲治 (総務部総務課 主幹)  
高松 和人 (総務部換地課 主幹)  
坂本 宜凡 (事業部情報管理課 主幹)

#### ◇栃木県【下都賀・安足】農業振興事務所管内

菊地 一俊 (事業部情報管理課長)  
宮下 敬弘 (事業部施設保全課長)  
佐藤 栄章 (総務部換地課 主幹)  
植木 美穂 (事業部情報管理課 主幹)

#### ◇栃木県【上都賀・那須】農業振興事務所管内

金子 敦志 (総務部換地課長)  
土谷 和之 (総務部総務課 主幹)  
大島 俊久 (事業部施設保全課 主幹)  
大塚 芳明 (事業部測量課 主幹)

#### ◇栃木県【塩谷南那須】農業振興事務所管内

菊地 義則 (総務部総務課長)  
豊田 修一 (事業部農村整備課長)  
倉井 佳益 (事業部施設保全課 主幹)  
船山 訓男 (事業部測量課 主幹)

## 今年度も開催いたします！～絵画展・写真コンテスト～

### ●未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2025

主催：全国水土里ネット、都道府県水土里ネット

応募資格：小学生以下

各賞：農林水産大臣賞、全国水土里ネット会長賞、企業等協賛賞多数 ほか

### ●第5回「水が伝える豊かな農村空間～疏水・ため池のある風景～」 写真コンテスト

主催：疏水ネットワーク、全国ため池等整備事業推進協議会、  
全国土地改良事業団体連合会

各賞：農林水産省農村振興局長賞、全国水土里ネット会長賞 ほか

詳しくは、全国水土里ネット HP (<https://www.inakajin.or.jp/>) をご覧ください。

## 夏季インターンシップ 募集のお知らせ

## 栃木愛×自己成長！ 水土里ネットとちぎで未来を築こう。

本会では今年度も農業土木・測量・設計等を専攻する大学生の皆さんのインターンシップへの参加を募集しております。興味があるだけの方も、農業や地域、栃木の「水土里」に貢献したいとお考えの皆さんも、ぜひお待ちしております。✨

詳細は本会ホームページをご覧ください。

<https://www.tcgdoren.or.jp>



## 職員採用試験

本会は、下記のとおり令和8年4月採用に向け、職員採用試験を実施いたします。

受付期間：令和7年5月7日（水）～6月16日（月）

申込方法：持参（平日の8:30～17:30）または郵送（当日消印有効）

日時：【大卒】 一次試験 令和7年6月29日（日） 二次試験 令和7年7月下旬予定

【高卒】 本会ホームページにて後日情報公開予定です。

場所：土地改良会館会議室（〒321-0901 宇都宮市平出町1260番地）

## 食を支える水と土と緑があふれる里（農村）を ともに描いてみませんか？

詳細は、本会ホームページをご覧ください。<https://www.tcgdoren.or.jp/>

## 株式会社日本政策金融公庫からのお知らせ

### 農業基盤整備資金の金利

令和7年4月18日付けで、農業基盤整備資金の金利が次のとおり改訂されました。

金利情勢によって変動いたしますので、最新の金利は宇都宮支店にお問い合わせいただくか、金融公庫ホームページでご確認ください。

（単位：％）

区分	融資期間にかかわらず	融資期間（一例）			
		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	2.05	-	-	-	-
団体営補助残	1.90	-	-	-	-
非補助一般	1.90	-	-	-	-
非補助利子軽減	1.90	-	-	-	-
災害復旧	-	1.25	1.45	1.75	1.90

### お問い合わせ先：

株式会社日本政策金融公庫  
宇都宮支店  
農林水産業農業食品課  
TEL 028-636-3901

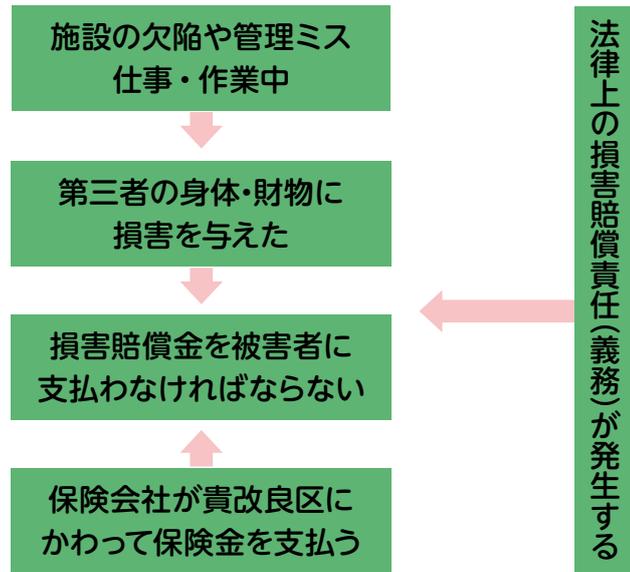
## 土地改良施設賠償責任保険に加入していますか？

### 土地改良施設総合保険制度とは

用排水路、ため池、機場、頭首工、更には堰等の施設の欠陥や管理ミスまたは業務上のミスに起因する事故により、他人の身体に障害を与えたり、財物を壊したことにより皆さまが法律上の損害賠償責任を負われた場合に、その賠償金を保険金としてお支払いするという保険制度です。

### まだ加入されていない会員の皆さまへ

万一に備えて、加入することを検討してみたいかでしょうか!!



#### ◇連絡先◇

水土里ネットとちぎ（栃木県土地改良事業団体連合会） 事業部 施設保全課  
 電話番号：028-660-5703 FAX：028-660-5713

## ★土地改良施設カード★を作成しませんか？

農業に不可欠な土地改良施設（農業水利施設）の役割や重要性について、地域はもとより国民に広くPRするために、土地改良施設カードを作成してみませんか。土地改良施設の役割を知っていただくことは勿論、観光・イベント等のPR資料としても活用でき、小さな「観光大使」の役割も果たすこととなります。



**土地改良施設データ**

所在地：宇都宮市川田町  
 所川名：利根川水系田川  
 河設備：洪水吐ローラーゲート×1門  
 洪水吐転倒ゲート×2門  
 土砂吐ローラーゲート×2門  
 取水スライドゲート×3門

堰長さ：57.6m  
 堰取水面積：2,689m<sup>2</sup>/s  
 受益面積：487.2ha  
 完成年：1965年  
 管理者：うつのみや中央土地改良区（2007年設立）

【施設概要】  
 田川から取水する給分用水が開削されたのは、1450年（宝徳年間）頃と推定されています。昭和初期頃の取水堰は抗堰で、取水口に樋門がなかったため、洪水や干ばつに悩まされたようです。

【TOPICS】  
 昔、宇都宮に天然痘が流行しましたが、田川に生息する黄色の鮎(な)を食べたところ治り、さらに病にからなかったという伝説があります。現在、宇都宮市内を走る「きぶなバス」は、その伝説からつけられた名称のようです。

Ver.1.0(2019.5)



## 令和7年度年間スケジュール

日 程	名 称	主 催
6月17、18日	全国水土里ネット女性の会 研修会	全国水土里ネット女性の会
6月18日	農業農村整備の集い	全国水土里ネット
6月中	農業農村整備推進懇談会(管内毎)	水土里ネットとちぎ 各地方土地改良事業推進協議会
8月28、29日	水土里ネットとちぎ第115回臨時総会 令和7年度会員研修会	水土里ネットとちぎ
9月3、4日	疏水フォーラム in 広桃用水 2025 (群馬県前橋市)	広瀬桃木両用水土地改良区 全国水土里ネット 疏水ネットワーク
10月15、16日	全国土地改良大会(佐賀大会)	全国水土里ネット 水土里ネット佐賀
10月23、24日	ため池フォーラムinひろしま	広島県 水土里ネットひろしま
11月4、5日	令和7年度男女共同参画推進大会	全国水土里ネット女性の会 くまもと水土里ネット女性の会
11月下旬	農業農村整備の集い	全国水土里ネット
令和8年2月下旬	土地改良区等監査実務等向上研修会	水土里ネットとちぎ
令和8年3月下旬	水土里ネットとちぎ第116回通常総会	水土里ネットとちぎ
令和8年3月下旬	全国水土里ネット通常総会 土地改良功労者表彰式	全国水土里ネット

### 編集後記

広報担当は昨年度と変わらずリーダーのEとSが担当しております。本年度もよろしくお願いたします。今号の表紙は、ルピナスです。集合体恐怖症の方はゾットするかもしれません…

藤の花に似ており、下から咲き上がるので、**昇藤** (のぼりふじ) とも言われています。花言葉は「想像力」「いつも幸せ」「貪欲」「あなたは私の安らぎ」です。

県内にはルピナスを見られる場所が多数あります。見頃は5月なので今年は過ぎてしまいましたが、来年のGWのご予定にいかがでしょうか？

・鹿沼市花木センター (鹿沼市)・那須フラワーワールド (那須町)・栃木市国府公民館 (栃木市) ほか

栃木県内に歴史背景や景観の美しい地区がございましたら、ぜひ情報提供をおねがいいたします！  
県内外の皆様、栃木県の素晴らしい水土里を知っていただければ嬉しいです。

広報担当 S